

北海道グローバル戦略について

基本的な考え方

グローバル化の進展に伴い、社会的・経済的な関連が、国・地域の枠組みを越えて展開

【本道を取り巻く国際化情勢】

- ・北海道ブランドの戦略的発信
- ・海外との人的ネットワークの形成
- ・国際化に対応した人材の育成、高度外国人材の活用
- ・多文化共生社会の形成
- ・国際交通・物流ネットワーク等の整備
- ・国際情勢やカントリーリスク等への対応

「世界の中の北海道」として本道が目指すべき姿を道民と共有しながら、戦略的・効果的な国際化施策を展開

グローバル戦略の展開方向

施策分野

海外展開の取組

産業振興(含、一次産業)

国際観光振興

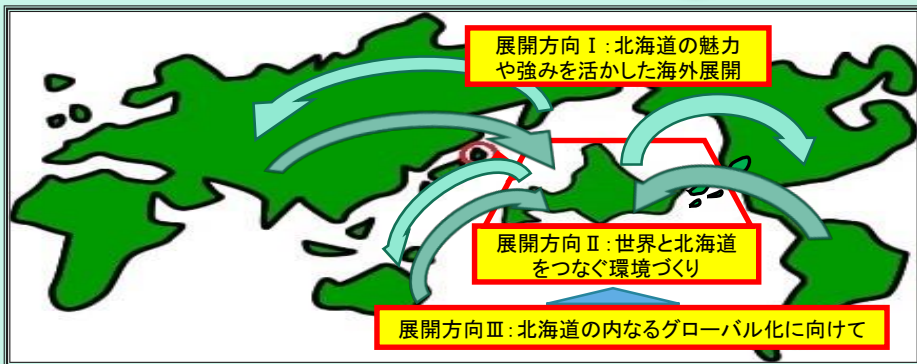
国際航空誘致

国際物流拠点強化

⋮

文化・スポーツ振興

各施策分野における海外展開の取組を進める上での共通アプローチを設定



【北海道グローバル戦略素案イメージ】

I 現状

- 1 北海道を取り巻く世界情勢
- 2 北海道の現状と、今、求められているもの
- 3 北海道のめざす姿

世界がより身近となり、世界を舞台に活躍

II 展開方向

【3つの視点】

〈視点①〉
世界に売り込む

〈視点②〉
世界とつながる

〈視点③〉
世界と向き合う

【展開方向Ⅰ】
北海道の魅力や強みを活かした海外展開

(1) 北海道ブランドの確立と戦略的活用

(2) グローバル・ネットワークの強化

【展開方向Ⅱ】
世界と北海道をつなぐ環境づくり

(1) 多文化共生社会の形成

(2) 人材・技術を活用した交流の促進

(3) 国際交通網・物流機能の拡大

【展開方向Ⅲ】
北海道の内なるグローバル化に向けて

(1) 海外からの影響への対応力の強化

(2) 多様なリスクへの的確な対応

III 施策の推進：施策推進の考え方、推進管理

IV 国際関連施策の取組：取組方向、施策一覧 ※毎年度取りまとめ

V 資料編：関連計画・方針、経済・友好交流に係る各種データ等

【検討スケジュール案】

- H29.2月 議会議論（戦略の方向性、位置づけ等）
- 6月 外部有識者会議の意見聴取（3回開催：6月、9月、11月）
- 6月 骨子案策定
- 9月 素案イメージ策定 → 庁内調整、有識者会議、議会議論
- 10月 素案策定 → パブリックコメント（10/6～11/2(予定)）
- 11月 庁内調整、有識者会議、議会議論
- 12月 案決定

※「I 現状」～「III 施策の推進」までは素案で最終化、1月以降に「IV 国際関連施策の取組」及び「V 資料編」を取りまとめ、年度内に成案化